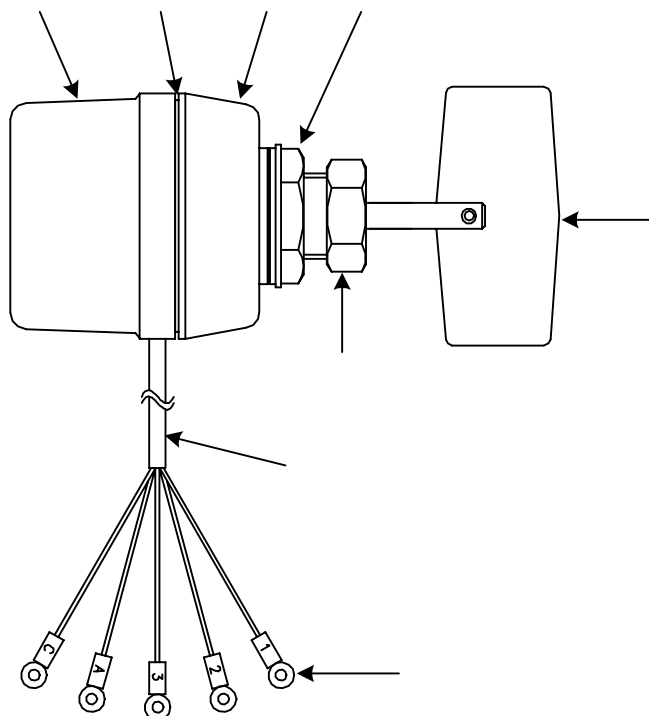


誤った取扱いなどによる事故防止のために、本取扱説明書は最終的に本製品をお使いになる方のお手もとに、確実に届けられるようお取り計らいください。

警告

配線などの作業を行う時は、計器への供給電源を切った状態で行ってください。
電源を入れた状態で作業を行うと、感電のため人命や重大な傷害にかかわる事故の起こる可能性があります。

1 . 各部の名称



- | | |
|---------------|---------------|
| : ケース | : 5芯キャブタイヤコード |
| : カバー | : 爪 |
| : 羽根シャフト固定ナット | |
| : 本体取付ナット | |
| : 検出羽根 | |
| : パッキン | |

2. ホッパーへの取付け

2.1 場所の選定, および注意点

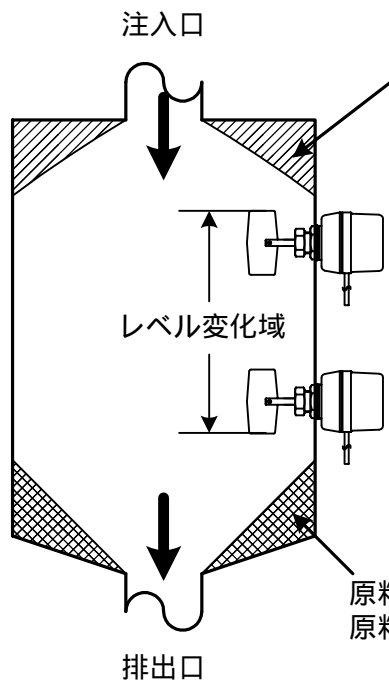
次のような場所および要領でご使用ください。

- (1) 塵埃が少なく, 腐食性ガスのないところ。
- (2) 機械的振動や衝撃の少ないところ。
- (3) 直射日光が直接あたらず, 周囲温度が 0~50 (32~122°F) で, 急激な温度変化のないところ。
- (4) 検出羽根を取付ける時は, 粉粒体レベルが実際に変化する位置で取付けてください。
- (5) 粉粒体の荷重が大きい場合は, 保護板を付けてください。
- (6) 粉粒体が落下する真下の場所, 排出口の近くへは, 取付けを避けてください。
- (7) 取付けは本体取付ナットで固定します。
ホッパー内での羽根の付け外しが困難な場合はフランジ(別売)を使用してください。
- (8) 羽根シャフトを挿入する時は, 無理に押し込まないでください。
(軽く挿入できる位置まで挿入し, 手で羽根シャフトを回してください。)
- (9) 防塵・防滴(IP53)の環境で使用する場合, 5芯キャプタイヤコードの引出し口が下向きになるように, LV-200S を取付けてください。

2.2 取付例

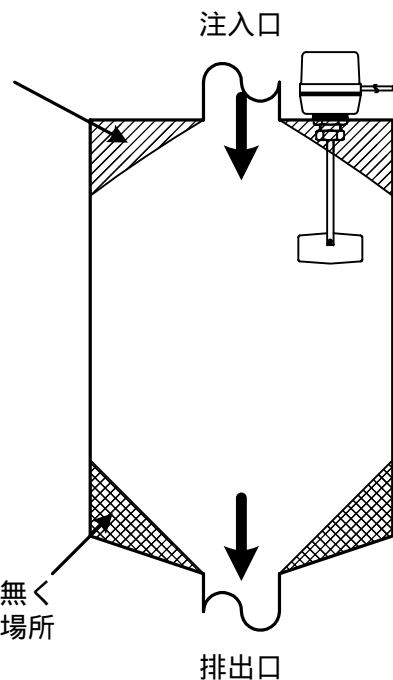
[良い取付例]

・水平取付の場合



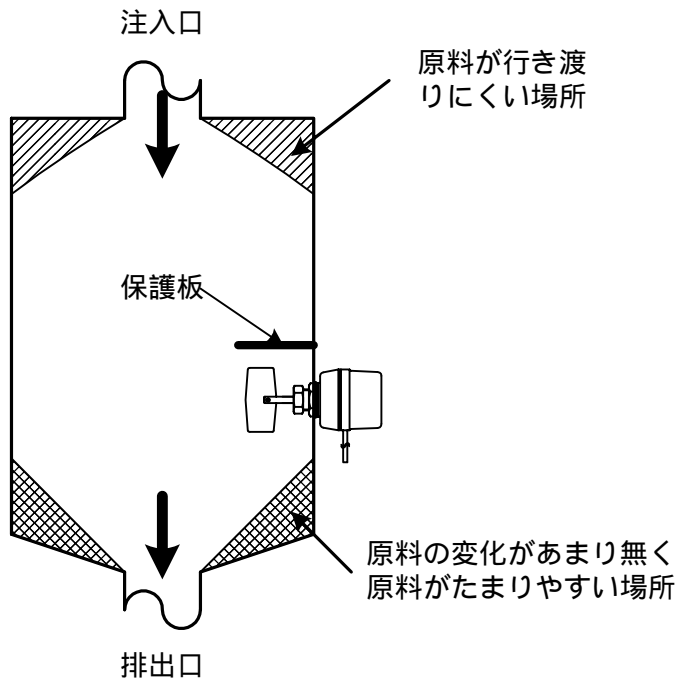
(図 2.2-1)

・垂直取付の場合



(図 2.2-2)

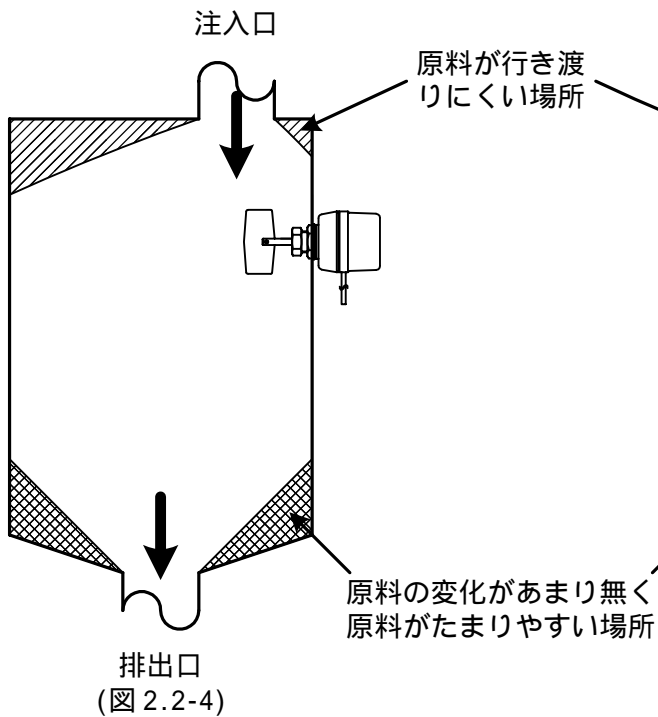
- ・ 原材料の荷重が大きい場合
(粉粒体の荷重が大きい場合は、保護板を付けてください。)



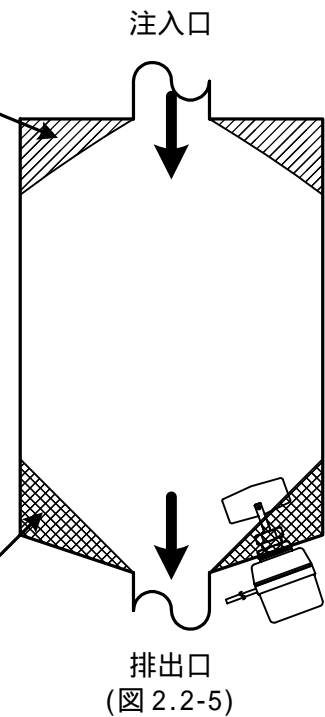
(図 2.2-3)

[悪い取付例]

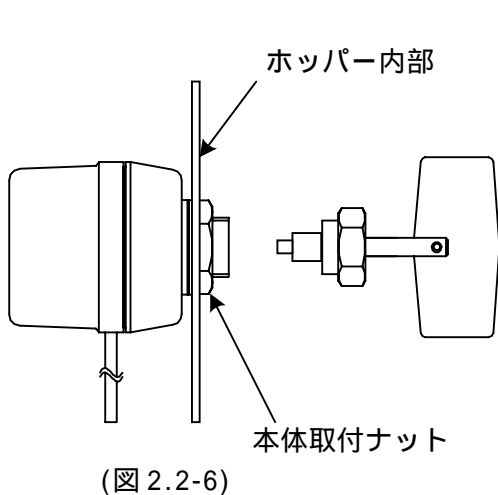
- ・ 注入口の真下



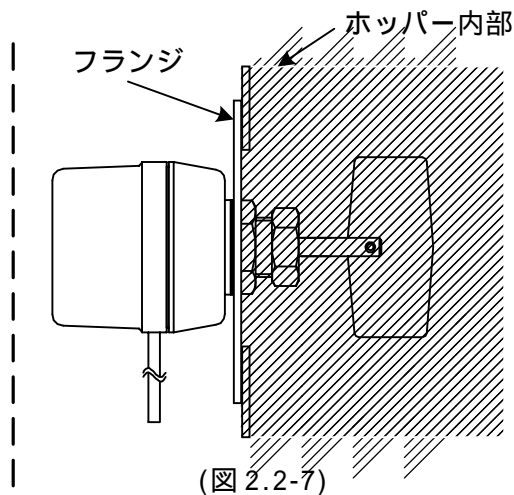
- ・ 排出口の近く



[ナット取付，フランジ取付の場合]



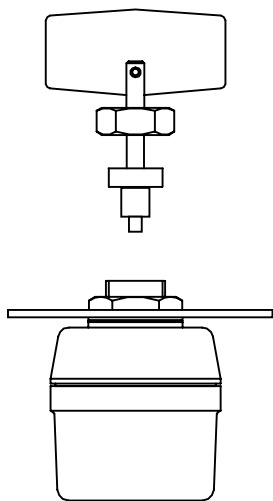
(図 2.2-6)



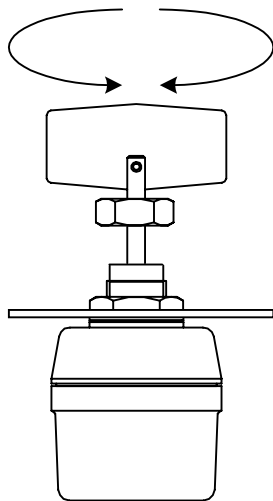
(図 2.2-7)

フランジ付の LV-200S を使用する場合は、ホッパーに羽根が入る穴を開けてください。

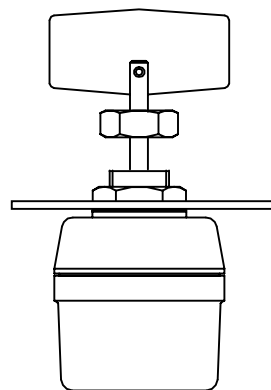
2.3 羽根シャフトの取付



(図 2.3-1)



(図 2.3-2)



(図 2.3-3)

羽根シャフトを挿入できる位置まで，挿入してください。

(図 2.3-2)のように，羽根シャフトが最後まで挿入できない場合は，羽根を左右に動かし，(図 2.3-3)のように完全に挿入してください。

(図 2.3-3)のような状態になったら，羽根シャフト固定ナットを回して締めつけてください。

⚠ 注意

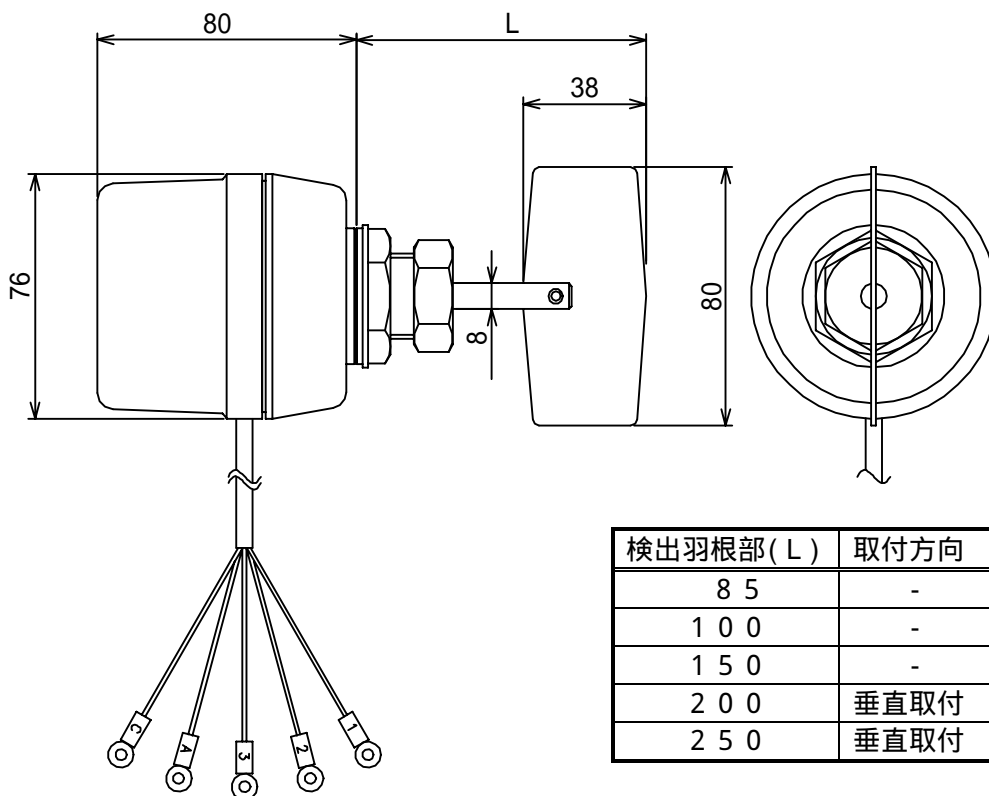
羽根シャフト固定ナット，および本体取付ナットを(表 2.3-1)のトルク以上で締付けると，ねじ部が破損するおそれがありますので気をつけてください。

(表 2.3-1)

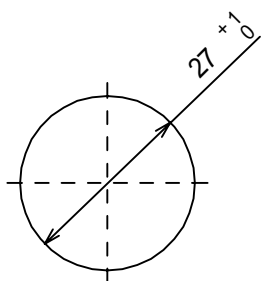
(単位：N・m)

	適正締付けトルク	最大締付けトルク
羽根シャフト固定ナット	15	30以内
本体取付ナット	20	30以内

2.4 外形寸法



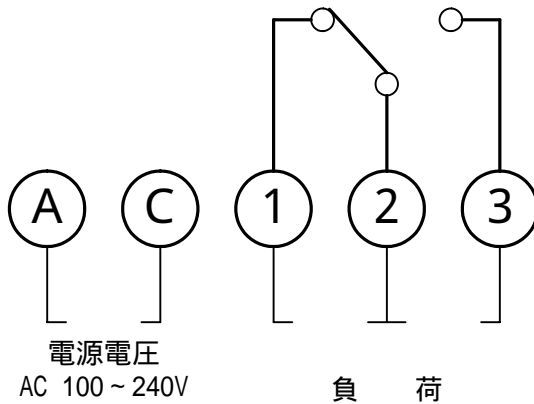
2.5 パネルカット



3 . 端子配列

⚠ 警告

配線などの作業を行う時は、計器への供給電源を切った状態で行ってください。
電源を入れた状態で作業を行うと、感電のため人命や重大な傷害にかかわる事故の起こる可能性があります。



端子記号	リード線色
A	白色
C	橙色
1	黒色
2	茶色
3	緑色

⚠ 注意

本器には、電源スイッチ、およびヒューズを内蔵していません。
外部の本器に近い回路に電源スイッチ、およびヒューズを設けていただくことをおすすめします。

4 . 運転 / 動作の説明

4.1 運 転

ホッパーへの取付、結線が完了しましたら、次の順序で動作の確認をします。

- (1) 本器へ供給される電源をオンにします。
- (2) 無負荷の状態を検出羽根が回転します。
その時(端子 - 端子 間は導通, 端子 - 端子 間は開放)となります。
- (3) 検出羽根に負荷が加わりますと、検出羽根の回転は止まります。
その時(端子 - 端子 間は開放, 端子 - 端子 間は導通)となります。

4.2 動作の説明

検出羽根に粉粒体抵抗が加わると、粉粒体抵抗により羽根は回転できず、停止します。

モータに固定されたバーにより、内部の負荷用マイクロスイッチ端子 - 端子間が導通になります。

粉粒体抵抗の負荷が加わっている時は、モータ用マイクロスイッチが作動するので、モータの電源回路は遮断されます。

粉粒体のレベルが下がり、検出羽根が露出し、粉粒体抵抗がかからなくなると、モータの回転と同時に検出羽根が回転します。

この時、内部の負荷用マイクロスイッチ端子 - 端子間が導通になります。

5 . 仕 様

品 名	レベルスイッチ
形 名	L V - 2 0 0 S
トルク	静止トルク 0.049N・m 以下 (固定)
回 転 数	羽根回転数 1rpm(60Hz)
電源電圧	AC 100V, 110V, 115V, 200V, 220V, 230V, 240V(いずれか指定) 50 / 60Hz
許容電圧変動範囲	電源電圧の ± 15%
接点容量	AC 220V 5A(抵抗負荷)
周囲温度	0 ~ 55
検出部の長さ	85, 100, 150, 200, 250mm(いずれか指定)
取付方式	ナット締付方式(取付部板厚: 最高 7mm)
材 質	ケース部 : アルミダイカスト カバー部 : 硬質樹脂 検出シャフト: SUS303 8.0 検出羽根 : SUS304 t1.5
リード線	5 芯キャブタイヤコード
質 量	検出部の長さ 85mm : 約 575g (キャブタイヤコード 2m を含む) 検出部の長さ 100mm : 約 580g (キャブタイヤコード 2m を含む) 検出部の長さ 150mm : 約 600g (キャブタイヤコード 2m を含む)

検出部の長さ 200mm : 約 620g
(キャブタイヤコード 2m を含む)
検出部の長さ 250mm : 約 640g
(キャブタイヤコード 2m を含む)
色 ケース部 : 7.5BG4 / 2.5(マンセル値)
カバー部 : ブルーグレー
防塵・防滴構造 IP53(但し, キャブタイヤコードの引出し口が下向きの取付
方向の場合に適用されます。)

Shinko 神港テクノス株式会社

本 社	〒 562-0015 大阪府箕面市稲 1 丁目 2 番 4 8 号 TEL (072)722-4571 FAX (072)720-7823 URL: http://www.shinko-technos.co.jp	千 葉出張所 TEL: (043)286-0103 / FAX: (043)286-0104
大阪営業所	〒 562-0015 大阪府箕面市稲 1 丁目 2 番 4 8 号 TEL (072)724-6031 FAX (072)724-6021 E-mail: sales@shinko-technos.co.jp	神奈川出張所 TEL: (045)361-8270 / FAX: (045)361-8271
東京営業所	〒 332-0006 埼玉県川口市末広 1 丁目 1 3 番 1 7 号 TEL (048)223-7121 FAX (048)223-7120	静 岡出張所 TEL: (054)282-4088 / FAX: (054)282-4088
名古屋営業所	〒 460-0007 名古屋市中区新栄 2 丁目 1 9 番 3 号 TEL (052)261-8335 FAX (052)251-3833	広 島出張所 TEL: (082)231-7060 / FAX: (082)234-4334
		徳 島出張所 TEL: (0883)24-3570 / FAX: (0883)24-3217
		福 岡出張所 TEL: (0942)77-0403 / FAX: (0942)77-3779
		福岡工場 徳島工場 三田工場